



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月4日

上場会社名 株式会社百十四銀行 上場取引所 東
 コード番号 8386 URL https://www.114bank.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 森 匡史
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 村松 貴幸 (TEL) 087-836-2721
 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	63,557	4.2	15,667	42.6	9,990	42.6
2024年3月期第3四半期	60,997	△8.9	10,984	△0.0	7,005	0.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,188百万円(△75.4%) 2024年3月期第3四半期 25,178百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	350.72	350.67
2024年3月期第3四半期	243.91	243.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,792,377	331,640	5.7
2024年3月期	5,840,650	329,186	5.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 331,631百万円 2024年3月期 329,164百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	55.00	90.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,500	2.9	17,600	20.9	11,500	19.3	404.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	28,630,000株	2024年3月期	28,790,000株
2025年3月期3Q	209,177株	2024年3月期	234,170株
2025年3月期3Q	28,485,912株	2024年3月期3Q	28,719,942株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

※ 2025年3月期 第3四半期決算 補足説明資料

1. 2025年3月期 第3四半期累計期間の損益状況(単体)	9
2. 預金等・預り資産の状況(単体)	10
3. 貸出金の状況(単体)	10
4. 金融再生法開示債権の状況(単体)	11
5. その他有価証券の評価差額(単体)	12
6. 自己資本比率(国内基準)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加による資金運用収益の増加などにより、前第3四半期連結累計期間比25億60百万円増加して635億57百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少などにより、前第3四半期連結累計期間比21億23百万円減少して478億90百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比46億83百万円増加して156億67百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比29億85百万円増加して99億90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、預け金の減少などにより、前連結会計年度末比482億円減少して5兆7,923億円となりました。また負債は、預金の減少などにより、前連結会計年度末比507億円減少して5兆4,607億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比24億円増加して3,316億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年11月8日公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,080,562	775,223
コールローン及び買入手形	5,829	3,005
買入金銭債権	40,659	33,199
有価証券	1,117,828	1,293,979
貸出金	3,428,362	3,522,917
外国為替	4,793	4,759
リース債権及びリース投資資産	18,020	20,265
その他資産	71,965	67,719
有形固定資産	37,348	37,412
無形固定資産	4,841	5,442
退職給付に係る資産	27,207	28,107
繰延税金資産	722	722
支払承諾見返	19,808	17,633
貸倒引当金	△17,298	△18,009
資産の部合計	5,840,650	5,792,377
負債の部		
預金	4,676,957	4,617,552
譲渡性預金	72,678	85,453
コールマネー及び売渡手形	15,673	4,880
借入金	615,210	633,092
外国為替	180	231
その他負債	83,654	76,223
役員賞与引当金	58	—
退職給付に係る負債	270	283
役員退職慰労引当金	41	29
睡眠預金払戻損失引当金	117	170
偶発損失引当金	121	156
株式報酬引当金	216	201
繰延税金負債	21,446	19,801
再評価に係る繰延税金負債	5,027	5,027
支払承諾	19,808	17,633
負債の部合計	5,511,464	5,460,737

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	30,486	30,486
利益剰余金	194,802	201,062
自己株式	△569	△563
株主資本合計	262,041	268,307
その他有価証券評価差額金	49,774	46,988
繰延ヘッジ損益	△11	△181
土地再評価差額金	7,865	7,867
退職給付に係る調整累計額	9,494	8,649
その他の包括利益累計額合計	67,123	63,323
新株予約権	21	8
純資産の部合計	329,186	331,640
負債及び純資産の部合計	5,840,650	5,792,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
経常収益	60,997	63,557
資金運用収益	38,521	42,106
(うち貸出金利息)	28,788	30,470
(うち有価証券利息配当金)	8,640	9,675
信託報酬	0	—
役務取引等収益	9,120	9,285
その他業務収益	4,038	3,921
その他経常収益	9,316	8,243
経常費用	50,013	47,890
資金調達費用	10,660	10,757
(うち預金利息)	3,801	4,568
役務取引等費用	2,653	2,848
その他業務費用	4,813	2,856
営業経費	24,975	24,642
その他経常費用	6,910	6,784
経常利益	10,984	15,667
特別利益	27	18
固定資産処分益	27	18
特別損失	219	198
固定資産処分損	51	146
減損損失	167	52
税金等調整前四半期純利益	10,792	15,487
法人税等	3,787	5,496
四半期純利益	7,005	9,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,005	9,990

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期純利益	7,005	9,990
その他の包括利益	18,173	△3,801
その他有価証券評価差額金	18,780	△2,786
繰延ヘッジ損益	△198	△169
退職給付に係る調整額	△408	△845
四半期包括利益	25,178	6,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,178	6,188

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

（セグメント情報等の注記）

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	54,278	5,377	59,656	1,341	60,997	—	60,997
セグメント間の内部経常収益	529	426	956	2,707	3,663	△3,663	—
計	54,807	5,804	60,612	4,048	64,660	△3,663	60,997
セグメント利益	10,093	350	10,444	1,091	11,535	△550	10,984

- （注）1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、調整額につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。
3. セグメント利益の調整額△550百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

銀行業セグメントにおいて、営業損益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落等により投資額の回収が見込めなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、167百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	56,711	5,220	61,932	1,624	63,557	—	63,557
セグメント間の内部経常収益	461	398	860	2,659	3,519	△3,519	—
計	57,173	5,618	62,792	4,284	67,076	△3,519	63,557
セグメント利益	14,707	217	14,924	1,173	16,098	△431	15,667

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、調整額につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。
3. セグメント利益の調整額△431百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業セグメントにおいて、営業損益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落等により投資額の回収が見込めなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、52百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,159百万円	2,056百万円

2025年3月期 第3四半期決算 補足説明資料

1. 2025年3月期 第3四半期累計期間の損益状況(単体)

2025年3月期第3四半期累計期間の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加による資金運用収益の増加などにより、前年同期比23億66百万円増加して571億73百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益の増加などにより、前年同期比28億84百万円増加して157億89百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加及び債券関係損益の改善などにより、前年同期比46億14百万円増加して147億7百万円となりました。

四半期純利益は、前年同期比29億43百万円増加して95億34百万円となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 (A)	2025年3月期		増減率(%)	2025年3月期 業績予想
		第3四半期 (B)	前年同期比 (B)-(A)		
経常収益	54,807	57,173	2,366	4.3	75,500
コア業務粗利益 ①	36,880	40,086	3,206	8.7	
資金利益	28,005	31,548	3,543	12.7	
役務取引等利益	4,859	4,720	△139	△2.9	
その他業務利益(除く債券関係損益)	4,015	3,817	△198	△4.9	
経費 ②	23,974	24,296	322	1.3	
コア業務純益 ①-②	12,905	15,789	2,884	22.3	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	11,754	14,369	2,615	22.2	
債券関係損益 ③	△4,790	△2,752	2,038	—	
実質業務純益 ①-②+③	8,114	13,037	4,923	60.7	
一般貸倒引当金繰入額(注2) ④	—	26	26	—	
業務純益 ①-②+③-④	8,114	13,010	4,896	60.3	
臨時損益	1,978	1,697	△281	△14.2	
不良債権処理費用 ⑤	1,209	2,123	914	75.6	
うち貸出金償却	1,043	542	△501	△48.0	
うち個別貸倒引当金繰入額(注2)	—	1,418	1,418	—	
貸倒引当金戻入益(注2) ⑥	405	—	△405	—	
償却債権取立益 ⑦	365	353	△12	△3.3	
株式等関係損益 ⑧	1,488	2,018	530	35.6	
その他臨時損益	929	1,448	519	55.9	
経常利益	10,093	14,707	4,614	45.7	16,600
特別損益	△202	△183	19	—	
法人税等合計	3,300	4,988	1,688	51.2	
四半期純利益	6,591	9,534	2,943	44.7	11,000
有価証券関係損益 ③+⑧	△3,301	△734	2,567	—	
与信関係費用 ④+⑤-⑥-⑦	438	1,796	1,358	310.0	

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2024年3月期第3四半期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 預金等・預り資産の状況（単体）

当第3四半期末の預金等残高は、個人預金は増加しましたが、法人及び公共預金が減少したことにより、前年度末比475億円減少して4兆7,177億円となりました。

また、当第3四半期末の預り資産残高は、金融商品仲介は減少しましたが、一時払保険及び投資信託が増加したことにより、前年度末比323億円増加して3,766億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
預金等(注)	47,177	△210	△475	47,388	47,652
個人	27,110	△88	129	27,199	26,980
法人	18,639	△72	△364	18,712	19,004
公共	1,427	△49	△241	1,476	1,668

(注) 預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
預り資産(注)	3,766	422	323	3,344	3,443
投資信託	1,355	273	170	1,081	1,184
一時払保険	2,309	282	172	2,026	2,137
金融商品仲介	102	△134	△19	236	122

(注) 預り資産は、各期末日における時価ベースの残高であります。

3. 貸出金の状況（単体）

当第3四半期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前年度末比953億円増加して3兆5,285億円となりました。

また、当第3四半期末の中小企業等貸出金残高は、前年度末比347億円増加して2兆5,121億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
貸出金	35,285	903	953	34,382	34,331
個人向け貸出金	6,019	51	17	5,967	6,001
うち住宅ローン	5,690	26	△0	5,664	5,691
法人向け貸出金(注1)	26,970	1,182	1,150	25,787	25,820
公共向け貸出金	2,296	△330	△214	2,627	2,510
中小企業等貸出金(注2)	25,121	644	347	24,476	24,773
中小企業等貸出金比率	71.19%	0.01pt	△0.96pt	71.18%	72.15%
信用保証協会保証付貸出金	1,768	△20	△68	1,788	1,836

(注) 1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

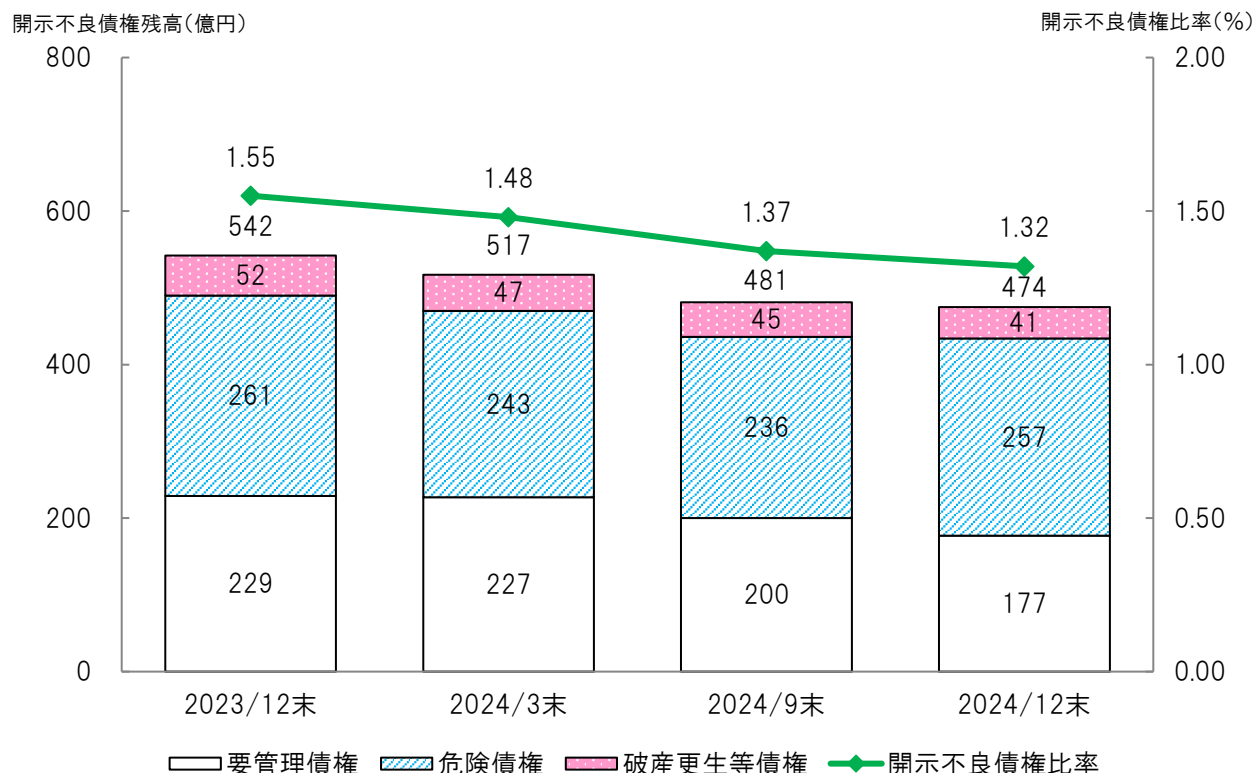
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況（単体）

不良債権に対しては、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っております。

当第3四半期末の金融再生法開示基準による不良債権残高は、前年度末比43億円減少して474億円となりました。また、総与信残高に占める開示不良債権比率は、前年度末比0.16ポイント低下して1.32%となりました。

金融再生法開示債権	(単位：億円) 【参考】			(単位：億円)	
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	41	△ 11	△ 6	52	47
危険債権	257	△ 4	14	261	243
要管理債権	177	△ 52	△ 50	229	227
開示不良債権合計	474	△ 68	△ 43	542	517
正常債権	35,219	915	966	34,304	34,253
総与信残高	35,693	847	924	34,846	34,769
開示不良債権比率	1.32%	△ 0.23pt	△ 0.16pt	1.55%	1.48%



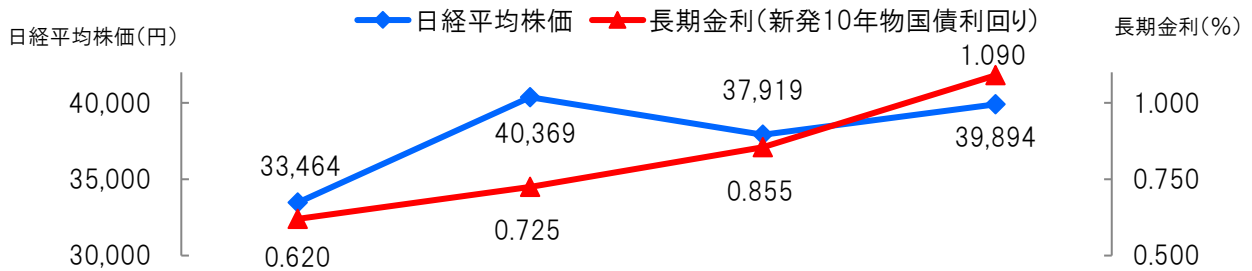
5. その他有価証券の評価差額（単体）

当第3四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、前年度末比36億円減少して666億円となりました。

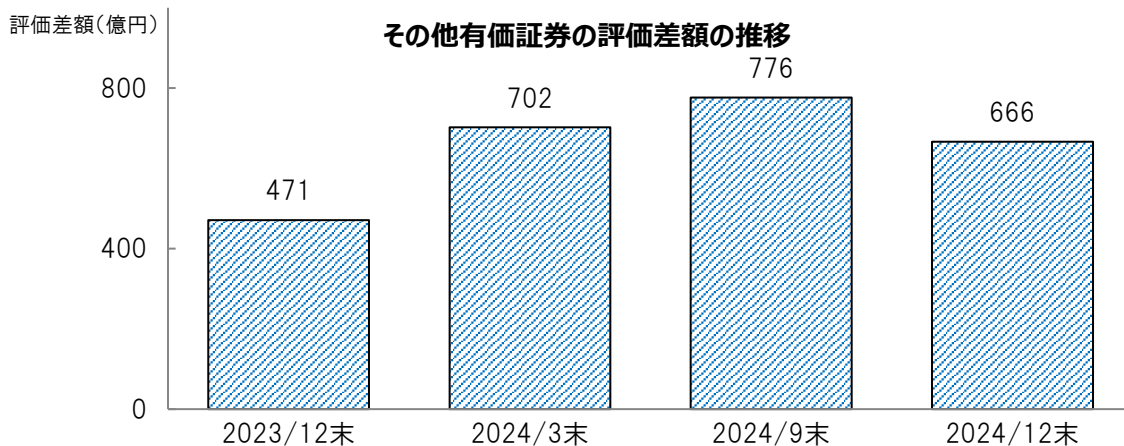
	(単位：億円)					【参考】 (単位：億円)					
	2024年12月末					2023年12月末			2024年3月末		
	評価差額					評価差額			評価差額		
	2023年 12月末比	2024年 3月末比	うち益	うち損		うち益	うち損	うち益	うち損		
その他有価証券	666	195	△36	1,052	386	471	805	334	702	1,031	328
株式	1,026	247	32	1,030	4	779	790	11	994	1,003	8
債券	△244	△88	△85	0	245	△156	0	157	△159	0	159
その他	△115	35	16	21	137	△151	14	165	△132	27	159

(注)「その他有価証券」は時価評価しておりますので、評価差額は貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。

【参考】日経平均株価と長期金利の推移



その他有価証券の評価差額の推移



6. 自己資本比率（国内基準）

2024年12月末基準の連結自己資本比率（国内基準）は、前年度末比0.06ポイント低下して9.06%となりました。

(1) 連結自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
①連結自己資本比率(②/③) (注1)	9.06%	0.04pt	△0.06pt	9.02%	9.12%
②連結における自己資本の額	2,632	58	59	2,573	2,572
③リスク・アセットの額 (注2)	29,042	534	839	28,507	28,202
④連結総所要自己資本額	1,161	21	33	1,140	1,128

(2) 単体自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
①自己資本比率(②/③) (注1)	8.54%	0.02pt	△0.05pt	8.52%	8.59%
②単体における自己資本の額	2,459	50	55	2,409	2,404
③リスク・アセットの額 (注2)	28,794	540	824	28,254	27,970
④単体総所要自己資本額	1,151	21	32	1,130	1,118

- (注) 1. 自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は国内基準を適用しております。
2. 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。